

ON AIR

NO. 92

放送大学通信 オン・エア

発行月 平成20年12月

発行 放送大学

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2丁目11番地
043-276-5111(代)

CONTENTS

| | |
|-----------------------------|----|
| 特集:25周年特別企画「羽ばたく放送大学」 | 1 |
| 学生座談会「放送大学への期待」 | 5 |
| 学園ニュース | 9 |
| 誌上スペシャルインタビュー「この史代さんをお迎えして」 | 10 |
| 平成21年度学部開設改訂科目紹介 | 12 |
| 研究室だより | 16 |
| 学習センターだより | 17 |
| 同窓会・卒業生だより | 18 |
| お便りコーナー「往復書簡」 | 19 |
| インフォメーション | 20 |

25周年特別企画

羽ばたく放送大学

おかげさまで、放送大学は今年創立25周年を迎えました。そこで、本号では25周年特別企画「羽ばたく放送大学」を特集しました。また「学生座談会」も開催いたしましたので、お読みください。

I 世界に羽ばたける放送大学をめざして 学長 石 弘光

放送大学は、創立25周年を迎えた現在、次の4半世紀を視野にいれ新たな段階に進まねばならない。これまで経済社会の変化や技術の進展にあわせ、放送大学もそれなりに変革を遂げてきたと思う。しかしながら世界に向け存在感を発揮するべく、更なる発展を目指すならば、過去に捉らわれずに未来を見据えた行動が必要である。

将来に向けての放送大学の改革にあたり、私は次の2つの視点が、特に重要だと考えている。1つが、学生の視点に立った改革である。そしてもう1つが、国際化の視点の導入である。私は赴任してまだ1年数カ月しかならないが、これまでの放送大学の歩みを見るにつけ、この2つが欠けていたと思う。

第1の学生の視点は、まさにこれから放送大学が足元を見つめ、いかに改革を進めるべきかを考えたとき欠かせない条件である。これまで放送大学の教育の実態を観察すると、とかく教職員の都合からの制度・仕組みが優先されてきたように思う。新学期

になっても印刷教材が余裕をもって届けられない、成績の発表より先に新学期的科目登録をせねばならぬ逆転現象、あるいは試験問題が公開されない、放送による授業がすべて

必ずしも良くないなど、学生諸君から多くの不満が寄せられている。これに対し、従来どれだけの改善の努力が払われたか疑問である。海外の遠隔教育を行う公開大学を訪れると、異口同音に遠隔教育の大学の使命は、学生の満足度 (student satisfaction) をいかに高めるかだという。長期的に見て学生数の減少が続く現在、放送大学が生き残るには、教育の原点つまり良質な教育サービスをいかに提供しうるかに依存しているといえよう。

第2の国際化の視点も、放送大学がこれまで欠いてきたものである。毎年2つある国際会議 (国際遠



隔教育学会とアジア公開大学会議)に、学長と他のスタッフが出席する程度で、それ以上に海外の公開大学と積極的に交流し、遠隔教育の実を挙げようとする発想はあまりなかったようだ。海外から学术交流が求められても、断った例もある。いわば一種の鎖国時代であったといえよう。世界の国々ではその手法を異にするが、放送大学と類似の大学が必ず設置されており活発な活動を行っている。遠隔教育の

技術の開発、教材の作成、学生の確保、学習センターの設置、ITの活用などさまざまな面で、われわれの学ぶべき点が多い。と同時に、これからはわれわれの培った研究・教育の成果も、海外でどんどん展開せねばならない。

世界に羽ばたける放送大学を目指し、学長以下執行部は以上のような視点から更なる発展を目指すべく、改革に取り組んでいる。

II これからの放送大学の新たな歩み

教授 青山 昌文

「放送大学アクションプラン2008」を中心として

放送大学は今年、創立25周年を迎えました。私たち教員の研究室がある8階建ての建物がまだ工事中で、教授会を現在事務局が入っている3階建ての建物の中の小さな部屋で行っていた時代からの教員である私には、感慨ひとしおのものがああります。

この四半世紀の節目の年に、放送大学は、「放送大学アクションプラン2008」

を策定しました。既にご覧になられた方も多くいらっしゃると思いますが、このアクションプランの副題は、「世界に羽ばたく遠隔教育の殿堂を目指して」であり、この副題は石学長がお考えになられたものです。石学長はご着任以来強力なリーダーシップによって放送大学の改革を進められており、このアクションプラン策定もその一環として、古くからの教員である私に素案の取りまとめを命じられたのであります。

このアクションプランには、12の具体的なプランが記載されています。ここでは、その中から、既に動き出している幾つかのものをご紹介します。

国際社会における連携

まず、副題にも明示されている国際化の点では、第12プランの「国際社会における連携」に「海外在住の日本人並びに、日本文化に関心を持っており日本語が理解できる海外の外国人に対して、現地での教育活動を拡大する」と書かれています。このプラ



ンの実現可能性を検討した結果、ニューヨークが最有力候補地となり、世界金融危機の真っ直中のニューヨークに高橋教授と池原事務局長が、様々な授

業展開の可能性の事前調査に出張なさいました。もちろん著名な国際政治研究家の高橋教授が行かれたわけですから、ご専門の講演もなされたのですが、日程の多くは日本人学校での説明会等に当てられました。実際にニューヨークに放送大学の拠点を設置するためには、常駐職員の配置などの様々な課題を解決しなければなりません。今回の調査結果をふまえ、「現地での教育活動」は、物理的な拠点設置ではなく、インターネット配信などによる全く別の形態のものとするようになりました。いずれにせよ、放送大学が四半世紀を経て、海外に進出しようと本格的に動き出していることは確かであり、ここには、石学長の「鎖国時代」を突破して放送大学の国際化を推進してゆこうという、明確で強いご意向が形となって表れているのです。

世界の公開大学との国際交流協定の締結

この第12プランには、「放送大学が世界の公開大学と国際交流協定を締結し、他大学と共に教育研究

活動を行うことが不可欠である」とも書かれています。今年8月には、この方針に則して、世界で最も著名な遠隔教育大学であるイギリスのOpen Universityと学術交流協定を締結し、その調印式が行われました。放送大学のスタッフがOpen Universityに交換訪問で研究滞在したり、Open Universityのスタッフが放送大学に交換訪問で研究滞在したりすることなどがこれによって可能となり、これもまた、「鎖国時代」の打破の一つと言えるでしょう。9月には、韓国の放送通信大学とも学術交流協定を締結しており、この国際化の動きはますます確かなものとなっています。

放送大学叢書の発刊

アクションプランの第6プランは、「放送大学叢書（仮称）の発刊」です。これは「既に閉講となった科目の印刷教材を基にして」一般書店で「広く販売する」という叢書で、既に3冊の刊行が決まっています。その中には、記念すべき放送大学開学放送開始時の科目の一つである熊倉功夫客員教授の「生活と芸術」も含まれていて、熊倉教授は現在の視点に立って大幅な改訂を加えた書物をご執筆中です。茶の湯の歴史研究の権威でいらっしゃる熊倉教授は、放送大学の学生達にも大変に人気のあった先生で、卒論口頭試問の副査としてお手伝いをさせていただ

いた私には、試問に際しての先生の優しい語り口が懐かしく思い起こされます。新しく生まれ変わる先生の放送大学叢書も、学問的に高度でありながらも、優しい語り口で語られていることでしょう。

同窓会との連携

アクションプランには、他にも、第9プランの「全国的な同窓会組織の確立」のように、目標に向かって大きく動き出しているものもあります。この第9プランは、「放送大学の様々な活動を円滑に推進するためにも、大学同窓会との連携をより深め、同窓会の全国組織化を、大学として全面的に支援する。このために同窓会のための連絡拠点を整備し、教員および事務側の体制を整える」というものですが、教員側の体制としては、同窓会担当の教員を定め、現在は私がその役を仰せつかっております。また、事務側の体制としては、担当事務局の明確化の他にも、放送大学本部の中に同窓会のための部屋を確保したりしており、同窓会は、今や、完全に、大学とより密接な関係をもった、いわば「大学内部の組織」として存在しているのです。

このように、多くの点で、放送大学は、新たな歩みを確実に歩んでいます。四半世紀を超えて、これからの放送大学が、ますますこのような新たな歩みを歩んでゆくべく、力を注いでゆきたいと思っております。

III 世界の公開大学との協定締結

□ イギリス公開大学との協定

2008年8月26日、ミルトン・キーンズにあるイギリス公開大学の本部で、放送大学とイギリス公開大学の間で、学術交流協定の調印式が行われた。これは、放送大学にとって海外の公開大学と結んだ第4番目^{*}の学術交流協定である。

放送大学からは私が、そして先方からはW. Swann副学長が出席した。調印式の日程は私がオランダで開催された国際学会の帰途、イギリスに立ち寄ることにしたので、折り悪く出張中のB. Gourelly 学長は不在であった。しかしながら昨年12



W. Swann副学長(左)と石学長(右)

月に訪問したときに会っており、今回の学術交流協定の調印に関しても事前に打ち合わせてあったので、不在でも何ら支障は生じなかった。

この協定の締結により、双方の大学の間でスタッフの交換、教材の共同制作、セミナーおよびコンファレンスの開催などが、今後図られることになる。放送大学の国際化に向けての大きな一歩となることは間違いない。(学長/石 弘光)

*これまでに学術交流協定を締結した大学。1.アサバスカ大学(カナダ) 2.空中大学(台湾) 3.中国瀋陽市廣播電視大学(中国)

韓国公開大学との協定および総長メッセージ

平成20年9月22日に韓国放送通信大学の張矢遠総長が幕張の放送大学本部にお越しになり、公開遠隔教育の分野において、相互に利益のある様々な領域で協力し合うことに合意する協定を結びました。本件におけるメッセージもいただきましたので、ご紹介いたします。

以下は韓国放送通信大学張矢遠総長が本学宛てにお寄せいただいたメッセージを、本学吉田教授に翻訳していただいたものです。

韓国放送通信大学張矢遠総長メッセージ

現在、世界各国は、生涯教育、生涯学習によって人生の質と職業能力を向上させ、これを通して国家経済力を強化することに努力している。韓国放送通信大学は1972年、韓国に初めて遠隔教育を導入し、現在では学部21学科・大学院9学科に在学生18万名を擁し、卒業生43万名を数えるメガ大学に成長した。生涯教育、遠隔教育、公教育において重要な役割を担っている。韓国放送通信大学は、テレビ、マルチメディア、ウェブ、オーディオなどの先端教育媒体と750余科目に及ぶ多様な教育プログラムを提供し、4年制大学の卒業生が再入学する大学として評価され、国会議員、大学教員、政府高官、企業幹部、弁護士、医師などの専門職業人が自己開発のために入学してきている。

韓国放送通信大学は現状に満足することなく、新たな跳躍のための努力を続けている。大学独自の放送局「放送大学テレビ（OUN）」とメディア・センターのコンテンツ制作インフラやノウハウ、高水準の遠隔講義などにより、高等教育の水準を引き上げるべく努力を傾注している。チューターによる学習指導、科目別ホームページの構築、ワークブックの普及と拡大など、さまざまな学生支援を行い、学



韓国放送通信大学 総長

張 矢遠 (チャン・シウォン)



張 矢遠(チャン・シウォン) 総長(左)と石学長(右)



協定書

生の学業持続を誘導する予定である。2009年には先端学習方式モバイル・ラーニングを導入し、U-キャンパスを構築する予定である。

韓国放送通信大学は、世界各国の遠隔教育大学と交流協定を締結し、持続的な交流を通して大学の質を高め、世界の遠隔生涯教育の発展にも寄与してきた。共通性と異質性を併せ持つ放送大学とのパートナーシップ構築は、韓国放送通信大学の教員学習システムを革新するにあたって大きな刺激を与えるものと確信する。両大学のもつ比較優位性を共有し、不足するところは相互補完することで、両者とも高水準の遠隔生涯教育システムを構築し、世界に向けて新たな跳躍を試みる事が可能となる。

また、両大学が人的・物的交流と遠隔教育発展のために相互協力を行うことで、日韓両国を中心とするアジアの国際的役割拡大を牽引することが可能となる。グローバル遠隔大学への跳躍に対する韓国放送通信大学の熱意が共有され、両大学の競争と協力を通して相互の発展を実現することを希望する。



『放送大学への期待』

ご参加いただいた4名の学生の方々 高橋 美紀子さん 松山 哲則さん 山口 貴宏さん 長谷 和子さん

放送大学は、今年創立25周年を迎えるにあたり、放送大学の次代にあるべき姿とは何か、

課せられた使命とは?を自問しつつ、様々な改革を模索しています。

そのポイントの骨格の一つとなるのが「学生の視点に立つ」というものです。

本号では、現在大学に在籍中の4名の学生の方々にご参加いただき、

「放送大学への期待」というテーマで、日頃考えていらっしゃるごこと、大学へ改善を希望する点など、

忌憚のないご意見を伺いました。

司会は当誌編集委員である松村祥子教授(生活と福祉)が務めます。

(以下、本文中の氏名は敬称略とさせていただきます)

松村 本日はお忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。早速ですが、座談会を始めさせていただきます。放送大学は、創設当時と現在とはだいぶ変化してきました。創設当時は大学に行けなかった方の入学も多かったのですが、今は大卒の方も多く在籍されています。教養を深めるためにだけでなく、資格取得といった目的で学習される方もいらっしゃいます。そこでまず、みなさんに放送大学に入学された動機やきっかけについて伺いたと思います。

松山 私は建築設計の仕事に携わっています。なかでも医療・福祉施設を専門にしております。平成7年、必要にせまられ「高齢者福祉」について学ぼうと思いましたが仕事との両立は困難と考えていました。偶然、郵便局で放送大学のパンフレットを手にしてこれだと思いました。学習センターが勤務先から10分、好きな科目だけを受講することが可能なのも社会人には魅力です。

高橋 私は、放送大学設立の際に関連する仕事で関わったこともあり、“素晴らしい講師陣による密度の濃い講座”“開かれた講座”の素晴らしさに、少し余裕が出来たら入学しようと思っていました。在



(左より)松山哲則さん、長谷和子さん、司会の松村教授、山口貴宏さん、高橋美紀子さん

籍することに意味があると、そういう思いで少しずつ少しずつ単位を取得するうちに在籍期限の10年が過ぎてしまい再入学したところ。今は少し真面目にならなくてはと、卒業研究に取り組んでいます。

長谷 私は若い頃に体調を崩してしまい、大学を中退しました。そのとき先生がとても心配してくれて放送大学を紹介してくれたのです。やはり大学は出たい、絶対卒業したいと。自然の理解専攻で今は卒業研究に取り組んでいます。

山口 電気電子機器メーカーで商品開発に携わっています。商品開発には技術だけでなく、例えば経済やマーケティングといった知識も必要です。技術一辺倒だと、知らず知らず消費者目線を見失ってしまう。環境への配慮も必要です。そこで幅広い知識を

得ようと、そして仕事との両立を考えて放送大学を選びました。

松村 いろいろな動機で放送大学に入学されたようですが、実際に入って見てどうでしたか。こんなところが意外だったとか、入学してこんな点が変わった、入学して得たこと、といった観点からお話いただけますか。

松山 放送授業（テレビ）の「世界の社会福祉」では日本に居ながらにして新しい外国の諸事情を知ることができたのは有意義で嬉しかったのを覚えています。

高齢者の「グループホーム」3箇所、その後「特別養護老人ホーム」を5箇所設計する機会を得たときの参考になりました。また面接授業では異なるフィールドで活躍されている方々との出会いがとても刺激になります。

高橋 私にとって、放送大学は“心と体のシェルター”というものでしょうか。新しい知識に触れ、今までと違う方向への関心が増えていくことはもちろんですが、「“目的”的ではない時間」を過ごせる喜び…そんなことを感じています。

山口 知識が広がることで仕事のありようが変わったように思います。学習の時間を確保することは確かに大変ですが、その分仕事の方に余裕ができて、自分なりの引き出しやツールが増えました。次へのステップを自分で作ることができる、という手応えのようなものを感じています。

長谷 入学してまず驚いたのは、新しい知識が想像以上に得られたことです。放送と学習センター^{※1}を組み合わせマイペースで学習できる点も良かったと思います。

高橋 まわりの方がみんな一生懸命勉強されているのには正直驚きました。学習センターでそんな様子

を間近に見るとあせっちゃうほど。ご近所に、退職された男性の方で、TVは放送大学の番組が一番面白いとおっしゃる方がいらっしゃるの、私は「放送大学へ行かれたら」とお勧めしてるんですよ。

山口 土・日にセンターで集中的に勉強していますが、その私もみんなの熱心さには驚かされます。その度に、放送大学の学生はいい意味で“選ばれた変わり者”が多いとつくづく感じます（笑）。家にいながら放送を通して勉強できるだけでなく、学習センターでそういう方々とコミュニケーションがとれるのも放送大学ならではのメリットですね。頑張りを分けてもらえます。だからまた頑張れるし、次にチャレンジもできる。

長谷 ご高齢の方もいらっしゃいますが、そのパワーには圧倒されてしまいます。どこからそのモチベーションは来るのか。私とその世代ならきっとゆっくりしたいはずなのに。

松村 学習センターのお話が出ましたが、面接授業についてはいかがですか。

山口 ある講師の方が「授業がこわい」と。授業では様々な世代、様々な経歴をお持ちの方々の、的確で厳しい質問が飛び交います。また公開の授業という性格上、講師の方は常に最新の知識を披露しなければなりません。だからとても臨場感があり活気にあふれています。そして実に面白い。全科生は面接授業で20単位取得しなければなりません、あまりの面白さに気づいたら取れていた、というのが実感です。

松山 面接授業で一番記憶に残ってるのは「南西諸島の歌と踊り」。教室に入るやいなや「みなさん、椅子と机をかたづけてください」と。

琉球・奄美の民謡をみんなで歌って踊ってこれには驚きました。こういう授業もあるんだなあと。「南西諸島出身の方いませんか？」私のふるさとは徳之



高橋美紀子さん
元NHKアナウンサー。
1998年入学、「人間の探究」専攻。



山口貴宏さん
電気電子機器メーカー勤務。2004年入学、「産業と技術」専攻。卒業後、2007年4月「社会と経済」3年次編入学。

※1 全国50カ所の学習センターと7カ所のサテライトスペースでは、講師が直接指導する面接授業（年間3,000クラス以上）を行っている。

島（鹿児島）、挙手したら私も方言で歌う機会をいただきました。

山口 放送にはない、多様な内容の授業があるのはとても魅力的ですね。放送での偏りを自分なりに修正できるという面や補習として受けている授業もあります。

長谷 演習のような授業があってもいいですね。

高橋 そうそう、いつだったか、新古今集の研究を少人数ずつのグループで発表するゼミ的な授業を受けましたが、とても充実していて面白かった。放送はどうしても一方通行になりがちで孤独感から続けられないという学生もいらっしゃると思いますが、

こんな演習のある授業がもっと増えれば、講師の方々や学生同士の交流が深まって良いと思います。面接授業は、私にとっては大きな楽しみの場です。

松山 面接授業は1コマ135分を5コマ受講して1単位。科目によっ

ては大変な思いをしたり逆に時間が短く感じる科目もありました。授業によっては教室を出てフィールドワークがあるのも楽しみです。

山口 その面接授業、授業料は1単位5,500円。約11時間聴講できるということは1時間当たり500円です。これだけの授業を受けてこのプライス。いつも安いなあ、と感心しつつ聴講しています（笑）。

松山 安いと言えば放送も合わせた全体の授業料もそうです。他の大学は私立で1年間約100万円、国公立なら60万円前後。放送大学は卒業に必要な62科目124単位取得した場合70万円弱、これで少なくとも4年間は学べる訳ですから。

松村 放送大学に対して、こういう点を改善してほしい、放送大学の発展のためにこうしたら、というアイデアがありましたらお聞かせください。

長谷 TV講義もぜひインターネット配信をしてほしい。放送、学習センターでの面接授業、これにネ

ット配信が加われば、遠隔の方々には特に喜ばれると思います。

松山 私のふるさとは離島で高校までしかないので大学進学は島を離れることになります。離島や山間部を問わず全国津々浦々の方々がインターネット配信で大学で学ぶ機会が増えることを期待します。

山口 放送大学を途中でやめられる方の多くは、やはり仕事との両立に悩む社会人だと思います。放送授業1科目あたり15講義ありますが、そのうち1講義でも仕事の都合等で聴講し逃すと、その時点で挽回がづらいと感じてしまいます。センターではDVDやビデオ等で再視聴できますが、ネット配信はセンターに出かけられないという人たちへのリカバリーにもなると思います。

松村 TV講義のネット配信は、過去の講座については著作権の問題があるのですが、ラジオ講義については新しい開設科目から進めています。ほかに何か感じられていることはありますか。

松山 同じネットの活用についてですが、講義の空き情報はネットで確認できても申し込みはセンターに行かなくてはなりません。ネットでの申し込みが可能になれば学生の対応も早くなると思います。それともう一つ。図書館の土・日の開館時間をもう少し早めてもらえたら、と。

高橋 私は講座について要望があります。放送大学は1年2学期制ですが、参考文献にもゆっくり目を通したい、1年かけてじっくり勉強したい講座もあります。多様な人を受け入れてくれる大学です。

講座にも多様な柔軟性があればと思います。科目にもよるのですが、私が専攻している「人間の探究」には、宗教、思想、哲学といったじっくり取り組みたい科目が多くあります。

長谷 通信指導の戻りをもう少し早くしてほしい。私の場合、通信指導が戻ってきて「あっ、試験の準



松山哲則さん
一級建築士。1995年入学、2004年卒業後、大学院入学。「政策経営」専攻。



長谷和子さん
2006年度(3年時)編入学、「自然の理解(生物科学)」専攻。

備しなくっちゃ」と慌てる始末です。

山口 通信指導で戻ってきた○×をチェックするだけでも結構勉強になります。

高橋 印刷教材もあるので、予習という観点から早めの通信指導というのもあっていいかも知れませんね。



司会：松村祥子 教授（生活と福祉）

松村 現在は放送8週目で通信指導が行われていますが、6週目辺りでもよいかも知れませんね。検討課題にしたいと思います。

高橋 面接授業で100人対応と案内しているのに実際には20人ほどしか集まらないケースがあります。もったいないと常々感じていて、受講したい旨を申し出ると単位取得済みの人はダメなんですね。単位取得とは関係なしに、そして外部の方も聴講できるといいですね。「共修生」^{※2}という制度もありますが、条件がもっとゆるやかになれば、と思います。

山口 賛成です。語学系など何回でも受けたいと感じています。科目名は同じでも講師によって中身が違いますから。

^{※2} 学習センター等で行われている面接授業を、科目登録を行っていない学生の方も、また大学教育そのものを体験したい、生涯学習の場として活用したい一般の方も、担当講師の了解と空席がある場合のみ聴講できる制度。有料（1科目あたり5,500円）。

松村 教材についてはいかがですか。広報などについてもお聞かせください。

松山 科目によってボリュームがあり過ぎて読むだけで精一杯というものもあります。ただ、全科目15章立てになっているので、自分の勉強したい章だけを学習できる点はありがたいですね。

長谷 私には、全体としてよくまとまっていて、勉強しやすいし、わかりやすいです。

山口 科目によってレベルにばらつきがありますが、面接授業でケアできるので問題ないですね。普通の大学に通っていたころと比べて成績は今一歩ですが、それはこちらのレベルが高いから。やりがいがあり

ます。広報については、入学を考えている人、生涯学習を始めたいと思っている人のプライドをくすぐるようなイメージを掲げることができるといいですね。放送大学は無試験で入学できるだけになおさらです。

高橋 実際に入学してみると十分魅力的な場所だというのはわかるのですが、外部の人には少し“オタクっぽい”イメージがあるようです。社会に開かれた学びの場とうたってはいますが、大学としての実績、こういう教育・研究を成し遂げた、といった点ももっとアピールしてもよいのではと考えます。

山口 “実質的な大学”であると。録々たる講師陣、しかも公開だから必死なんだよと（笑）。そんな“良さ”を絶えず発信し続けられたらな、と思います。

松山 経済的な理由で普通の大学へ行けなかった人が放送大学をステップにしている。私もそうでしたが、初めは科目履修^{※3}だけでもよいから、とPRできたら、と。とにかく一度体験してほしい。

^{※3} 開講している約300科目の中から興味のある分野を1科目から履修可能。「週科履修生」（在学期間1年間）と「科目履修生」（同6ヶ月間）がある。

高橋 普通の学校に行かなくても、ここに入ればやりたいことが見つかる、いろんな学び方が可能だということが伝わるといいですね。

松村 貴重なご意見、ありがとうございました。みなさんのご意見はまさに「学生の視点に立つ」もので、とても参考になります。放送大学は、多くの人の多様な自己実現を支援する、よりよい学びの場をめざして参りたいと思います。今後どうぞ忌憚のないご意見をお寄せください。



就任のごあいさつ

こころの健康を考える

生活と福祉 教授 石丸 昌彦

石丸です。九月に着任しました。

もともと精神科の医師で、現在も診療を続けています。当初は臨床に専念していましたが、のちに精神疾患の成立機序に関する生物学的な研究に携わり、前任校に移ってからは精神療法や臨床心理学に関心を持つなど、気ままに渉猟しながらここまでやって来ました。そろそろ学んだことを形にしたい季節を迎えています。

さて、こころの健康を考えるうえで「からだ」と「ことば」は二つの重要な鍵ですが、そのいずれもがメディアの圧倒的な影響力に曝されている現状を痛感します。それは精神疾患とメディアの関係を見ればよく分かることです。患者さんに、「摂食障害は伝染病です」と言われて驚いたことがありました。「摂

食障害はメディアを通じて伝染する病気です。拒食とか過食とか、そういう行動様式が世の中にあると知らされていなければ、決してこの病気にはならなかったでしょう。人間はコミュニケーションの動物だから、病気もコミュニケーションされて広がるんです、摂食障害だけではないはずです…」

なるほど、そうかもしれません。けだし卓見、そしてこの説の射程は、おそらく相当に深く広いのです。縁あって放送大学に籍を置いたこの機会に、自由な観点から新しい勉強ができればと期待しています。よろしくお願いします。



石丸 昌彦 教授

この史代さんへ感謝状を贈呈

放送大学卒業生で人気漫画家の、この史代さんには放送大学の新たなイメージキャラクターを制作いただきました。

名称も決まりましたので、それに感謝し、放送大学学園では10月9日に大学本部において本学園の御手洗理事長より、この史代さんに感謝状を授与いたしました。

幕張の本部を初めて訪れた、このさんは理事長、学長、副学長、理事と懇談した後、本部附属図書館

を見学され、「ON AIR」、「大学の窓」のインタビューに応じていただきました。

このさんの漫画家としてご活躍されている様子などは、本号インタビュー記事を是非お読みください。(10～11頁に掲載)



(前列左から)石学長、このさん、御手洗理事長



放送大学イメージキャラクターの名称は「まなびー」に決まりました!

放送大学にキャラクターが誕生しました!「あなた」の心に学びを届ける伝書鳩をイメージしています。イメージキャラクターの名称を6月10日から8月31日まで公募した結果、158名の方から242点の応募がありました。たくさんのご応募ありがとうございました。選考の結果、応募作品の中からイメージキャラクターの名前は「まなびー」に決定しました。みなさんに親しまれ、愛されるキャラクターになればと思っております。

命名者

小寺 光雄 さん(会社員・愛知県名古屋市)

由来:放送大学で学び、未来への夢を広げる鳩。「ビー」は鳥の鳴き声、平和のピース

放送大学を卒業された、新進気鋭の人気女流漫画家

この史代さんをお迎えして

放送大学のイメージキャラクター「まなびー」を制作いただいた、放送大学卒業生の人気女流漫画家、この史代さん。2004年、代表作『夕凧の街 桜の国』（双葉社）で第8回文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞、第9回手塚治虫文化賞新生賞を受賞。ラジオドラマや芝居で演じられ、そして佐々部清監督、田中麗奈・麻生久美子主演で映画化、2007年夏に公開されました。漫画ファンならずともそのお名前は耳にされた方も多いかと思います。

当号では、この史代さんを本部にお招きして、漫画家を志されたきっかけや放送大学との関わり、そして現在制作中の作品等についてお話を伺いました。

大ヒットとなった代表作
『夕凧の街桜の国』

インタビュアーを務めた当誌編集委員長・
附属図書館長、柏倉康夫教授（「産業と技術」）

漫画は読んじゃダメ
それなら自分で描こうと…

—本日はありがとうございます。早速ですが漫画家を志されたきっかけからお話いただけますか。

私は小さい頃から漫画が大好きでした。でも家では禁止されていたので、隠れてこっそりと。自分のお小遣いで買う訳ですから、すぐお金はなくなります。次から次という訳にはいきません。それなら自分で漫画を描こうと始めたのが、きっかけです。絵や文章を書くのはもともと得意でしたので、描き出すと楽しくてたまりません。兄弟で回し読みもしてくれます。そんな幼少時代を経て、中学生になった頃から本格的に描き始めました。

—デビューまではどんな道のりでしたか。

けっこう長かったですね。漫画家にどうしてもなりたくて、20歳で上京。雑誌に投稿したり、プロの作家のアシスタントを務めたり…背景を描いたり、髪の毛を塗ったりの毎日です。そして、自作『街角花だより』が雑誌に連載されることになり、これが本格デビューとなりました。27歳のときです。

20代後半までに芽が出なければ地元に戻るか就職するか、という世界です。多くの人との出会いに恵まれたおかげだと思います。

デビュー作となった
『街角花だより』この史代さん
漫画家。広島市出身。広島大学理学部中退
放送大学教養学部卒業幅広い知識がほしい
ファミレスで放送大学と出会い、入学

—このさんは放送大学へ入られる前に、広島大学の理学部に入学されていますね。

宮沢賢治が好きで、彼と同じ農学部に入りたかったのですが、地元の広島大学には農学部がありません。それで理学部の地学科に。でも、何か違う、という思いと漫画家への夢が捨てきれず、中退しました。

—その後、放送大学へ入学された訳ですが、どういう理由からですか。

漫画家を志すには幅広い知識は絶対必要と考えていたので、大学をやめたことに何か割り切れない思いがありました。アシスタントを契機に夢が近づくにつれ、見聞を広めたいという思いはますます募ります。漫画仲間だった友人（現在の主人）が、心機一転美大に入学することになったのも動機の一つです。その彼とある日入ったファミレスで目にしたのが放送大学のパンフレットでした。「面白そう」「じゃ、やってみれば」。それが放送大学との出会いです。

面白く、ためになった放送授業 中でも「徒然草の内景」は…

— いかがでしたか、放送大学に入学されて、なかなか多彩な授業を受講されたようですが…

様々な分野に興味がわき、面白そうで絞りきれません。実際受けると本当に面白くて、次々と受けるうちに単位がたまり気づいたら卒業できていた、というところ。私は飽きっぽいのですが、でも漫画は続けられる。大学でずっと研究できるのも才能の一つなんだと気づかされる、講師の熱意の伝わってくる講義が多かったです。ラジオっ子だった私はラジオ科目をよく聴きました。TV放送も「動物の行動と社会」などとてもためになりました。

— 中でも特に印象に残っている授業はありますか。

本当にどれもこれもです。「世界の宗教」「地球と宇宙」「数学の歴史」「化学史」…各分野の歴史の授業なんて普通の大学じゃあまりないのじゃないでしょうか。急に専門的な方へ行ってしまって。そう言えば「徒然草の内景」は本当に良かった。それまでは、“おじさん”がまさに「徒然なるままに」書き連ねた日記、というぐらいの認識しかなかったのですが、講師の方が教えてくださったのです。兼好法師も執筆を続けることに疑問を感じる。でも、さらに書き続けることでそれを突破し、「徒然草」も明らかな変質をとげると。それを知ったときに、この本は呼吸して生きているんだという新しい視点に気づかされたのです。人は日々変わる、その人の表現したものも日々成長する——とても貴重な体験でした。私の漫画は“生活”を描いていますが、「徒然草の内景」はその原点の一つなのかも知れません。

漫画で“普通に生きていくことの尊さ”を 伝えていきたい

— そうですね。こうのさんの作品では、“日常”がよく描かれていますね。

人生の大部分は“生活”だと思っています。食べて、寝て…その上に個々のなりわいや才能が薄く乗っかっているだけだと思う



のです。日常こそ“冒険の連続”です。今日生きている。——それだけのことが本当はとても大変なことで、みな努力して勝ち取っている——そういうことを自分で再確認したい…それが私の“漫画”という作業なのだと思います。だから伝えたい、普通に生きているということこそ尊い、と。

— 図書館で、こうのさんの作品の愛読者の方が“洗濯物を干す”シーンがとてもリアリティがあつていいと言っていました。日常の積み重ねが大切だという、こうのさんのメッセージはきちんと伝わっていると思います。今、放送大学の在學生やこれから学ぼうとしている方々に何かアドバイスはありますか。

私もそうだったのですが、講師の方とあまりコミュニケーションがとれなかったような気がします。接点がないというか、どこまで踏み込んで話しかけてよいのか遠慮してしまって…。でもせっかくの面接授業です。もっと気軽に声をかけ合えば、授業に活気が生まれると思います。友人もできます。私は二人の友人を得て、今も年賀状をやりとりしています。

— 今、制作中の作品についてご紹介願えますか。

平成20年の元号を昭和に置きかえると終戦の年になります。そこで、平成18年暮れに昭和18年暮れからの生活を描き始めました。舞台は軍都・呉。昭和19年、20年と月日の流れに沿って描き、21年の1月、つまりこの1月で終了予定です。タイトルは「この世界の片隅に」。主人公「すず」が呉に嫁ぎ、新しい家族や新しい世界に戸惑いながらも健気に生きていくというお話です。防空壕を掘ったり、食料の配給に並んだり、といった日常が描かれます。そしてある日の朝、キノコ雲を目にします。彼女の目を通して、戦争のある暮らしとはどんなものなのか。現代の私たちと共通する思いがあるのか。そんなことをじっくり見つめてみたいと描いています。

— これからも、こうのさんのメッセージを伝える素晴らしい作品をたくさん世に出してください。本日はどうもありがとうございました。



現在制作中の
【この世界の片隅に】

アジアと漢字文化('09)

東京大学大学院 准教授 大西 克也 人間の探究 准教授 宮本 徹
(放送大学 客員准教授)

改めて言うまでもないことですが、漢字は私たちの言語生活と分かち難く結びついています。漢字なくしては私たちの知的営みの多くが不可能になると言っても過言ではないでしょう。ただ、私たちが漢字そのものについてまとまって学ぶ機会というのは実はそれほど多くありません。もちろん小学校での書き取り練習に始まり、高校の漢文、大学での中国語など、漢字が主役となるような授業は日本の学校教育において間断なく行われていますが、漢字そのものを正面から扱った授業にはなかなか巡り会うことはなかったのではないのでしょうか。

漢字は長い時間をかけて大きく自身の姿を変化させてきました。この講義では、まず、漢字がその長い歴史においてどのような変化を遂げ、いかにして今日我々が目にする姿に至ったのかを、最新の研究成果と豊富なロケ映像に基づきながら説明します。



荊州博物館(中国・湖北省)にて彭浩・前館長にインタビューを行う大西准教授(右)



宮本 徹 准教授

もう一つ、漢字を語る上で忘れてはならないのは、漢字が日本、朝鮮半島、ベトナムをはじめとする中国の周縁に位置した諸民族にも受け入れられ、それぞれの歴史の中で個性的な役割を演じたことです。漢字がこの地域の紐帯として果たした役割はどのようなものだったのか。近隣諸国との間に横たわる今日的課題に向き合う際にも、このような視座は不可欠であるように思います。

自分の名前を初めて漢字で書いた日のよろこびを思い出しながら、もう一度、漢字に取り組んでみてはいかがでしょうか。

動物の科学('09)

自然の理解 教授 松本 忠夫 自然の理解 教授 星 元紀

動物は地球上の40億年近い生命史の中ではかなり遅くに出現した生物であるが、現在では実に多くの種類が多彩な生活を展開している。これらは、一般的に“動くこと”が大きな特徴となっている。また、他生物を摂食してエネルギーと物質を取り込まなければならず、生活基盤をそれらに全面的に依拠していることも大きな特徴としてあげられる。われわれ人類(ヒト)もまごうこと無き動物であり、ヒトの本性は身の回りにいる多くの脊椎動物たちとさほど変わってはいない。したがって、「動物の科学('09)」を学ぶことは、自分自身の進化的な由来を知り、その“不思議さ”を認識する上で大変重要であるといえよう。しかし近年の地球上では、動物としてはた



松本 忠夫 教授(左)と星 元紀 教授(右)

った1種に過ぎないヒトが実に多数の動物たちを圧迫し、また絶滅へと駆り立ててきた。そのあまりの凄まじさを知るならば、長い進化史でたどり着いた現在の動物たちの保全の必要性を、誰でも深く考えざるを得ないであろう。なお、本科目を作るにあたって、主任講師の松本忠夫はニュージーランドで大変興味深い鳥類を中心にロケーションを行った。本科目の内容をより豊かにしたものとして楽しんでいただけたら誠にありがたい。

心理カウンセリング序説（'09）

発達と教育 教授 大場 登

「カウンセリング」という言葉が、現在の日本であまりに安易に使われていることは多くの皆さんも感じておられることでしょう。他方、これも現代の日本において、心身の不調や対人関係の難しさ、家族にかかわる複雑でデリケートな事情、社会の急激すぎるほどの変化にまつわる困難、大人になることの怖れ、自らの中にも感じるかもしれない生々しい残酷性、そもそも生きてゆくことの悲しさ、セクシュアリティをめぐる葛藤、マイノリティとしての生きにくさ、「死」に対する実にさまざまな想い（不安、恐怖、あるいは逆に、親密さetc.）、「身体」についての独特の感覚や違和感、その他挙げれば切りがない「扱いの難しい複雑な事情」を抱えて、実に多くの方々が「カウンセリング」や「心理療法」

を希望されています。「抱えている問題や課題」と向き合おうとされています。



大場 登 教授

今回新たに開講される「心理カウンセリング序説（'09）」では、「心理カウンセリング」のもっとも基本的なところを、それでも、「臨床心理学に基づいた専門的な営み」として紹介・検討しています。フロイト派（精神分析学派）の森さち子先生・ユング派の石本伸子先生の協力もえて、「深いけれど、わかりやすい」講義を目指しました。幾つかの章では、放送授業と印刷教材を別の講師が担当して、異なる視点からの理解も試みてみました。

まさに、「乞う、ご期待！」です。

官民の人的資源論（'09）

産業と技術 准教授 原田 順子 摂南大学 教授
(放送大学 客員教授) 奥林 康司

人的資源管理は、雇用管理、教育訓練、人事考課、賃金、福利厚生、労使関係などの制度や活動を学ぶ学問です。一般的には、営利を目的とする組織である民間企業が学習対象となります。しかし、この講義では、タイトルからもわかるように、公的部門の人的資源管理も含まれます。平成の不況によって公的部門の収支バランスが悪化したこと、少子高齢化で今後の見通しが暗いことなどから、支出について見直しが必要になりました。そのため、近年では、公的部門の人的資源管理が民間部門のそれに接近してきているといわれています。

1980年代からニュー・パブリック・マネジメントという民間手法をとり入れた公的部門の運営という考え方が入ってきました。そこで、人的資源管理についても民間への接近が始まったわけです。しかし、民間企業と公的部門は目的の異なる組織体です。利



原田 順子 准教授



奥林 康司 教授

益を追求するという一貫した目標をもつ組織と、公平・公正・社会的正義という価値観に基づくサービス提供と法の執行が目的の組織が、人事考課ひとつとっても同じ基準で行うことができるのでしょうか。また、給与も官と民では異なる仕組みを通じて決定されます。官民の人的資源管理は、接近しつつありますが、全く同じにはなり得ないでしょう。その理由を考えることは、組織の目的と人的資源管理の連動について目を向けることにつながります。

今日では、民間企業、公的部門とも異なるNPO、NGOなどの組織も増えています。この講義が、組織の性格と人的資源管理の関連についても考える機会になれば幸いです。

日本文学の読み方('09)

人間の探究 准教授 島内 裕子

文学作品を読むのは、ごく日常的な行為ですので、「読み方」と言うと、なんだか堅苦しいように思われるかもしれませんが、この科目は、ご一緒に楽しく日本文学を読むことを、まず第一に目指しています。古典文学では、「源氏物語」や「枕草子」、「方丈記」や「徒然草」、「平家物語」や謡曲、和歌・連歌・俳諧など、多彩な名作・傑作が目白押しです。そして近代になると、鷗外や漱石も登場します。日本文学の歴史は長いものですが、さまざまな文学的な系譜が、幾筋もより合わされて、現代まで続いているのです。ですから、この「日本文学の読み方('09)」では、古典と近代の双方の作品を響き合わせながら読むとともに、「世界の中の日本文学」という視点も、取り入れてみました。それによって、

文学の奥行きの高さと広がりを実感していただけたらと思います。



島内 裕子 准教授

また、この科目では、名作・傑作の原文をできるだけ取り上げました。原文ならではの、すばらしい表現の響きに耳を傾けていただきたいと思っています。

さらにもう一つ、卒業研究に向けて、「文学研究の方法論」が自然と身に付くように、一歩踏み込んだ読み方の工夫を凝らしています。放送授業では、興味深いエピソードや文学的な余談も交えながら話していますので、ぜひ、多くの方々に受講していただければと思います。

生活知と科学知('09)

生活と福祉 准教授 奈良 由美子 京都大学大学院 准教授 (放送大学 客員准教授) 伊勢田 哲治

科学や科学技術に関する情報や知識について、みなさんはどのような存在としてとらえておられるでしょうか。自分たちの生活とは関係がない、何か遠い存在と感じておられるでしょうか。

学術の分野や政策の場においては、科学知と生活知とはこれまで別々に扱われることが多かったように思います。むしろ、これらを切り離して論じることは、専門家と一般市民、生産者と消費者、教える側と教えられる側といった立場の分離がより明確になることで発展した近代・現代社会になじむものであったとも言えるでしょう。しかし今日顕在化する様々な問題の解決には、異なる立場間の価値観・意見そして知のコミュニケーションが求められるようになってきています。それは日々の生活をめぐる安全・安心に関する問題、環境問題、製品・サービスに関する問題、地域の問題などにおいてとりわけ重要だと思われる。



伊勢田 哲治 准教授(左)と奈良 由美子 准教授(右)

このような問題関心をふまえて本科目では、二つの知が関わる3つの局面(①生活の中に既存の科学知を取り込み、生活知の一部とする、②生活者が科学に積極的に働きかけ、必要な科学知を引き出す、③生活者の持つ知識が科学知と対等に問題解決に貢献する)において、二つの知のコミュニケーションを可能とするための生活者や専門家たちの努力やその成果さらには課題を、理論や具体的事例を示しながらみていきます。日々の生活を営むみなさんは、例外なく生活者です。と同時に、放送大学の学生のみなさんの多くは、仕事等において専門家の立場もとっていることでしょう。科学知と生活知との関わりや必要性を実感しておられるのではないのでしょうか。みなさんとともに、ふたつの知のコミュニケーションを推し進めていければと思います。

物質環境科学('09)

環境システム科学群 教授 濱田 嘉昭 東京世田谷学習センター 所長 秋鹿 研一



濱田 嘉昭 教授



秋鹿 研一 所長

「環境科学」は“環境問題”を動機として、自然と人間のあり方を科学と技術を通して考察し、持続的で発展的な世界を構築したいと考える21世紀に生きるすべての人々が学んでほしい学術です。「環境科学」は理科系の科目ですが、そこで展開される内容は経済・社会、文明・文化のあり方と深く結びついています。そして、「環境科学」の切り口は科学に限っても一つではありません。生物・生態系、エネルギー、宇宙・地球科学との関係で考えることもできます。

私たちが制作した「物質環境科学('09)」は、分子というミクロの世界が切り口です。現代の物質文明は、プラスチックや情報通信機器などに高度な機能をもった物質が使われています。そして、それらの製造・使用・廃棄のすべての過程で環境との関わ

りが出てきます。

これらの事柄に関係する具体例を紹介しながら、皆さんと一緒に考えていくような構成にしました。テレビの利点を活用し、普通にはなかなか見学のできない大学の研究室あるいは先進的な企業の事例を紹介しました。多くの人々が環境科学の発展あるいは環境問題の解決に努力している姿が見えてくると思います。

環境科学および環境問題は、教師が一方的に教えることで済むものではありません。私たちが紹介した事例あるいは考え方を批判的にあるいは積極的に受け止めて、受講者が自ら考え、提案し、行動していただけるきっかけになることを期待しています。

コーポレート・ガバナンス('09)

政策経営プログラム 教授 吉森 賢 政策経営プログラム 准教授 齋藤 正章



吉森 賢 教授



齋藤 正章 准教授

2008年はアメリカ発の金融危機が世界を震撼させました。その主要原因の一つがコーポレート・ガバナンス（企業統治）にあると私達は考えます。サブプライム問題の原因を突き詰めると住宅価格の上昇が将来も続くとする希望的な前提です。本来返済能力のない人々への住宅ローンの提供、借り手のこれへの希望、リスク軽減のために住宅ローンからの利息収入の証券化と、投資銀行と格付け機関による投資適格性の認証、その他あらゆる仕組みは住宅価格の高騰を前提として構築されました。したがって住宅価格が頭打ちとなり下落がはじまると全ては崩壊しました。

企業統治はこの運を天に任ず賭博的投資行動を阻止する役割を担っていました。しかし世界のプロ中のプロがいる投資銀行や金融機関の取締役会は、こ

のリスク不感症に警鐘を鳴らすことがなかったと推測せざるを得ません。

企業統治はこのように実効性に関しては今日なお不十分です。だからこそこれを勉強することは重要と考えます。このラジオ科目は、目下開講中の学部テレビ科目「企業統治と企業文化('08)」とは異なり、企業統治の歴史、理論、企業価値、株価形成、M&Aによる市場規律、不祥事と会計監査、内部統制、日米欧の取締役会改革、同族上場企業と中小企業、企業統治の収斂と課題、その有効性と限界、展望について考察します。講義は齋藤正章先生と私そしてゲスト講師により行われます。それではラジオでお会いしましょう。



ゼミは楽しい

私のゼミは毎月、京都で一回、神奈川で二回行っており、卒業研究に続いて修士論文の構想など、次々に報告が続く。皆さん、とても熱心で、私のほうが教えられることが多い。

一人で研究を進めるのはなかなかしんどいが、他の人の報告を聞きながら、研究心を高め、また新たな情報を聞いて勉学に動んでいるようである。年齢はさまざま、職業も様々ななかで、ともに励ましあって高めあっており、毎年九月と二月には修士の学生の合宿が行われている。幾つかの声を記しておこう。



ゼミの風景

学生の声

修士二年の加納和子さんは「親鸞と神祇観」をテーマとして、次のように語っている。
「この1年、ゼミ参加を重ねて、論点のキー

人間の探究 教授
総合文化プログラム 教授 五味 文彦



ゼミの懇談会(中央が五味教授)

ワード、またそれらをどのように扱えばよいのか等、次第に道筋の整理が出来てきたように思う。私

に対する指導ばかりか、他のメンバーの指導も聞かせていただいて、ここからもヒントがたくさん得られた。なにはともあれ「ゼミ」は楽しい。」

次に「御伽草子に見る子宝思想」をテーマとしている修士一年の小林和子さんの声。

「恐る恐る始まった大学院生活ですが、今は学ぶことが楽しく、最高の贅沢をしているなど感じています。月一度の京都でのゼミでは、自分の次の課題が明らかになりますし、他の方への先生のコメントも刺激になります。私の修論はまだ小さな胎児の段階ですが、いつか無事出産したいと思っています。」

情報の花も嵐も踏み越えて

自然の理解 教授
総合文化プログラム 教授 川合 慧

放送大学へ来てまだ2年目ですが、研究の対象は大きく「情報」としてしますので、学生さんの研究題目は、病院システム、知識処理、近代測量、情報教育、遠隔制御、画像と音楽、などなど、実に幅広くなっています。月1回の対面ゼミの重要な目的の一つは、自分の発表もさることながら、他の人の発表に対して自分なりの理解にもとづいた議論ができるようにすることです。これは、状況の理解と総合的な分析にもとづく問題解決方法の提示能力とが、情報分野に携わる人に求められる基本的な能力だからです。ゼミ後のアルコールも大切であることは言うまでもありませんが。

学生の声

私は看護師で医療チーム内の情報伝達のマネジメントをテーマとしており、ゼミの中では少数派です。初めてゼミに参加した時、皆さん日本語を話しているはずなのに、私の頭の中は??? 「これってもしかし



ゼミの仲間達(前列右から3番目が川合教授)

て宇宙語?」と驚きました。ところが、宇宙語を話す方々(分野の違う方々)の私のテーマに対するご意見はとても貴重で、放送大学だからこそ得られることだと思っています。(庄子由美)

川合ゼミでは、各学生が20~30分ずつ発表し、先生方、学生同士からも、様々なコメントをもらいます。学生も、現役のSE、教師、看護師、等等、多士済々で、発表内容も多岐に渡ります。熱い議論が巻き起こり、時間オーバーすることもしばしば。最初、月一回ゼミで発表すると聞いて「大変だな」と思いましたが、今ではとても楽しみにしています! (伊東直幸)

高知学習センターに来てみいや!

高知学習センターは、高知市の中心部から路面電車又はバスで20分程の高知大学キャンパス内に位置しています。設立当初高知市の東端にあったセンターは平成12年10月の「高知大学メディアの森」竣工と同時にその中に移転し、文字どおり多様なメディアの森を構成する大きな木となっています。

学習センターの講義室からは、西に朝倉城跡を残す城山、北は市内を貫く鏡川、南方には緩やかな山並みの続く南嶺を望み、東方は高知市中心部へと町並が広がる風景を見渡すことができ、とても気持ちよく学習できる環境にあります。



高知学習センター



高知学習センターのスタッフ

坂本龍馬像修復秘話

高知といえば幕末の志士坂本龍馬があまりにも有名ですが、これまた名勝として名高い桂浜に坂本龍馬の銅像が太平洋を望んで立っています。平成10年に70歳を迎えたこの龍馬像は抜本的な修復の必要が判明。龍馬像修復実行委員会により全国に呼びかけた募金活動の末、多くの龍馬ファンから多額の募金が寄せられ翌年修復の大事業が完成しました。この時に修復技術検討委員会委員長として深くかかわったのが石川充宏高知学習センター所長です。この時の秘話は、今秋スタートした県立図書館との共催の放送大学客員教員リレー講演会「藤並の森教養講座」で詳しく聞けそうです。この機会に高知を訪れてみてはどうでしょうか。



面接授業「ふしぎな結晶—宝石と粘土の話—」

研修旅行(晴明学校での模擬授業)

盛んな学友達との交流

学生生活に欠かせないのが、学友達との交流の楽しいひと時です。年に一度の研修旅行は、日頃顔を合わせることの少ない仲間達と文化や芸術に触れつつ情報交換を行ったり親交を深める機会として人気のイベントです。先日も愛媛県の松山市方面に日帰りのバス旅行に出かけましたが、出発後間もなく始めた参加者の自己紹介が、最初の目的地に到着した時にまだ終わっていないくらい盛り上がりました。皆さんの想いや体験談をお聞きする中で、本当に放送大学を楽しんでくださっていることが感じられ、うれしく思いました。

また、「英語研究会」と「シネマ鑑賞会」の息の長い二つのサークル、今年3月に発足したばかりながらまさにオタク状態の「パソコン



パソコン同好会

同好会」も学生生活を楽しく豊かに彩っています。11月に産声を上げたばかりの「インドネシア同好会Pelan-Pelan (プラン プラン)」は、早くも他センターとの交流を開始し、今後の活躍が楽しみです。

こんな高知学習センターに、いっぺん来てみいや。面白い面接授業もやりゆうき!

高知学習センター

高知市曙町2-5-1(高知大学内) 〒780-8072
 (高知駅からバスで25分程度) 電話:088-843-4864

ひよこの京都同窓会

京都同窓会代表 岩井 宏晏さん

「京都学習センター」は発足当初は京都大学構内で開校後、8年前よりJR京都駅西近傍の「キャンパスプラザ京都」ビル、3階エリアに移転し現在に至っている。

この伝統ある学習センターに、今迄「同窓会」なるものが存在しなかったことが不思議でした。幸い昨年4月、関係者皆様のご努力が実って「京都同窓会」が発足しました。会の特徴的なものとして、卒業生だけではなく現役の大学、大学院全科履修生も同窓会入会の対象としたことです。

理由は、放送大学生の年齢幅の広さ、多彩な社会的人生経験、多様な入学動機等、一般大学とは異なる良きメリットを活かし、OBと現役が気楽に交流できることで、



新旧会員との交流会

お互いの学習意欲向上に役立てようとの構想からでした。

私達は未だ発足1年半の同窓会新参組ですが、その主なPRポイントは

1. 会員の居住地出身範囲が広く（南は和歌山県新宮市、北は京丹後市、東は三重県伊賀市、西は島根県雲南市など）、地域性豊かな意見交換が活発。
2. 京都大学の博物館、海洋生物研究所、天文台、森林等多くの学術研究施設が活用可能、会活動の広範囲化が計れる。
3. 卒業生のユニークな卒論発表、社会的経験上の特筆すべき体験談の発表が「オモシロイ」との評判。
4. 懇親会・茶話会など場所的には超便利なので、会合し易い。
5. 京都は日本の歴史・伝統文化の中心地、探訪・探求活動の魅力一杯。

同窓会人数も現時点で65名と拡大中です。まだまだ「ひよこ」の段階、これからも先輩組の歩みを参考に、明るく、楽しく、親しみの持てる同窓会活動を展開して参りたいと思います。



長野同窓会の活動について

長野同窓会会長 山田 恵一さん

長野同窓会は平成8年3月に設立されてから12年が経過しました。会員数は現在139名です。今年前半の活動では5月に定期総会を開催、役員改選、事業計画の承認をいただきスタートしました。8月には歴代センター所長先生と同窓会正副会長懇談会を松本市において開催し、同窓会の現状報告と意見交換を行い懇親を深めることができました。恒例の野外研修は18年度はNHKの大河ドラマ風林火山の前年で「諏訪地区の山城探訪」、19年度はスキー場など経営が注目される松本市「奈川地区の施設



伊那市長谷仙流荘前にて

見学」など有意義な研修を行っておりますが、今年は伊那市長谷から南アルプススーパー林道、北沢峠へ上がり、甲斐駒ヶ岳の上り口をハイ

キングして登山の雰囲気味わいました。林道バスの下りでは急斜面で草を食べるカモシカにも出会いました。また、長谷溝口にある中央構造線公園で溝口路頭を観察しました。大自然の中での貴重な体験ができました。今後の予定では12月に会報の発行、2月頃に長野学習センターとの共催で講演会・体験発表会を長野市で開催し、新入会員の方から体験発表などをいただくことになっています。これからも会員の皆さんが楽しんで新たな発想が得られるような事業を計画し、会員の親睦、向上と放送大学の発展に寄与できるような活動をしていきたいと思っております。



往・復・書・簡

Q.「青水無月」の青は
どんな色でしょう？

先のON AIR No.90の編集後記を拝見して見慣れない言葉に目が止まりました。「青水無月」です。どこか私に縁のない世界で使われる特殊な用語かと思いましたが、広辞苑には、そのものズバリが出ていました。そもそも水無月が何月であるかも判らず、神無月の前や後ではなかろうし、また3月や5月ではなさそうだから、あるいは6月位か？という水準の私です。

しかし、田に水を引く様な月がなにゆえに「水無月」と呼ばれる様になったのでしょうか？

又、この青は瑞々しいとか、青々と萌え上るの意として理解してよろしいのでしょうか？青と緑の

分化が比較的新しいことと聞いていましたが、いつ頃なのかな？と興味もあり、これは広辞苑では無理だろうと思いつつめくってみましたら萬葉集にすでにある様です(2177,1848)。日本人は判っていながらまとめて青と云ってきたのでしょうか？

子供の頃、緑なのに青信号というのも不思議に思いましたが、最近、本当に「青」い青信号に違和感を覚えています。

又、黒いのに「みどりの黒髪」、赤いのに「みどり児」など、どう理解したらよろしいのでしょうか。

次号でも取り上げていただけたら幸いです、無理ですか？

7月7日 島内先生
名古屋市/石橋 一久



A.夏に茂る青葉の色を指しています。

このたびはお便り、ありがとうございました。「青水無月」という言葉は、以前から大好きで、ちょうど編集後記を書いた季節とぴったりなので使ってみました。そこに目を留めていただきまして、うれしさもひとしおです。



さて、お尋ねの件ですが、水無月は旧暦六月の異名です。現代の季節感では、真夏の時期にあたります。和歌や俳句で、水無月は、日照りの夏のイメージです。まさに、雨が降らない、「水無し月」ですね。「青水無月」の青は、夏に木々の青葉が茂ることから来ているようです。お尋ねのように、現代人の感覚から言うと、「あお」や「みどり」という言葉には、ちょっとわかりにく

いところがあるかもしれませんが、その点をご自分で、いろいろ辞書などで調べていらっしゃるの、とてもよいことですね。

なお、「みどりの黒髪」や「みどり児」の「みどり」は、「新芽」や「若芽」を意味する言葉だという学説もあるくらいで、つやつやしている様子や、若々しい様子の意味で使われています。さらに詳しくは、「古代日本語における色名の性格」(佐竹昭広著「萬葉集抜書」、岩波書店、1980年)を読んでみて下さい。

このたびのお手紙がきっかけとなって、編集委員一同、「お便りコーナー」を「ON AIR」に設けたいと、話し合いました。学生の皆さんからのお便りをお待ちしています。

(島内 裕子 准教授)

学生募集—教養学部学生及び大学院修士選科生・修士科目生

広報課

平成21年度第1学期の学生募集を以下のとおり行います。
平成20年11月15日(土)…平成21年度第1学期学生募集要項配布開始

| | |
|-----------------|------------------------------|
| 出願期間 | 平成20年12月15日(月)～平成21年2月28日(土) |
| 合否通知等 | 平成21年2月上旬～平成21年3月中旬 |
| 学費の納入 | 平成21年2月上旬～平成21年3月末 |
| 入学許可通知・印刷教材等の配送 | 平成21年2月上旬～平成21年3月末 |
| 授業開始 | 平成21年4月1日(水) |

放送大学に関心があるご友人、ご親戚他お知り合いの方にも、この機会にぜひ本学についてご紹介くださり、入学をお薦めいただきますようお願い申し上げます。

平成21年3月末をもって学籍が切れる学生の方で、平成21年度第1学期以降も引き続き学習を希望される場合は、改めて入学手続きが必要となりますが、入学科が割引になります。

・出願締切日は平成21年2月28日(土)＜必着＞です。

平成20年度第2学期面接授業(集中型)科目の追加登録

学習センター支援室

2月に行われる第2学期面接授業(集中型)について、空席がある科目は追加科目登録をすることができます。登録日程等下記をご確認いただき、どうぞこの機会に面接授業にご参加ください。

空席発表日:平成20年12月25日(木)
登録受付期間:平成21年1月7日(水)～1月11日(日)
空席のある全てのクラスが登録受付対象となります。

空席状況(追加登録の対象となる科目)は、空席発表日以降、各学習センターの掲示・キャンパスネットワークホームページ(<http://www.campus.u-air.ac.jp/u-air/>)でお知らせします。受講したい科目をご確認のうえ、登録受付期間内に、当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースの窓口へ直接お越しください。

※登録の際は必ず、学生証(コピーは不可)・授業料をご持参ください。

※登録受付の方法等くわしくは、当該科目を開設する学習センター・サテライトスペースへお問い合わせください。

平成20年度放送大学学位記授与式について

総務企画課

平成20年度学位記授与式の日程が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

日時:平成21年3月28日(土)午前11時00分から
場所:NHKホール(東京都渋谷区神南2-2-1)

なお、宿泊についてはJTB団体旅行千葉支店でも取り扱っています。詳細は、JTB団体旅行千葉支店のホームページの「放送大学学位記授与式」の項目をご覧ください。

<http://www.jtb.co.jp/shop/danchiba/>

2009年度新規開設科目から印刷教材(テキスト)の文字を大きくし、見やすくします。

学生の皆様からの意見を踏まえ、2009年度新規開設科目から印刷教材の文字サイズを現在の9ポイントから原則10ポイントで作成することにいたしました。これにより、読みにくいということや目が疲れるということが改善され、これまで以上に印刷教材を楽に読むことができるようになります。

あいうえお→あいうえお(原寸大)

編集後記

この史代さんデザインのマスコットが公募で「まなびー」と命名された。NHK・BSの「ななみちゃん」や「どーもくん」同様に、放送大学の全国化・普及に大きな役割を果たすことを期待したい。このさんの誌上スペシャルインタビューや現役学生の皆さんの座談会のお話から、放送大学には多様な人が多様な目的をもって、そして多様な成果を得ていることがわかる。

10月29・30日に開催された第50回全国社会教育研究大会(長野市)のスローガンは、「過去・現在・未来をつなぎ『智』『情』『意』が響き合う、活力ある地域づくりを目指して」だった。学校教育と社会教育を融合させるために、放送大学が全国各地の学校だけでなく社会教育機関・組織(公民館や生涯学習センターなど)の実践と響きあい、智に働かず、情に棹ささず、意地とおさず、「窮屈な社会」を「開かれた社会」に替える役割を担えたらと思う。(岡崎友典)

ご意見やご感想をお聞かせください。メールアドレス editor@u-air.ac.jp

放送大学通信 オン・エア 編集委員(平成20年度)

- 委員長 教授 柏倉 康夫
- 副委員長 教授 松村 祥子
- 委員 准教授 岡崎 友典
- 准教授 原田 順子
- 准教授 坂井 素思
- 准教授 島内 裕子
- 准教授 二河 成男

編集事務担当 教務部学習センター支援室



<http://www.u-air.ac.jp/> ISSN 1343-3369